東京国税局管内納税貯蓄組合連合会　会長賞

海への税金

船橋市立三田中学校
第一学年　藤原　成海

今年に入り、大規模な軍事攻撃によって、ホルムズ海峡が封鎖状態になることがありました。これにより、世界の海上石油貿易の約四分の一が停止し、原油などの価格が急騰して、日本にも大きな影響が出るというニュースが連日放送されていました。ホルムズ海峡を通過する船舶に対して通航料や税金を課す動きもあり、両親もガソリンの価格が上がるのを心配していました。

日本は海に囲まれた島国です。なので、海や船舶に関連する税について調べてみたくなりました。私の身近なことで、漁業や輸送、海水浴や海釣りが思い付きました。

海に関することでは、漁業や船舶での輸送には、関税・消費税はもちろん、船体には固定資産税がかかります。他には入港に対する地方税だったり、トン数標準税制といった初めて聞く税が課されていることがわかりました。海を仕事にしている人は、多くの税金を支払わないといけないのだと思いました。

では、海水浴や海釣りといったレジャーに関しては、どういった税が課されているのか調べてみると、一部の場所で遊漁税がありました。

海水浴はプールと違い、大きな海で大小の波が打ち寄せていて、たくさんの生物がいます。泳ぐだけじゃなく、砂浜で貝を探したり楽しい思い出があります。

だけど、楽しいことだけではありません。夏になると水難事故のニュースを聞きます。特に海では、沖に流されてしまったり、子供も大人にも危険な現象が発生することがあります。そうなった時、ライフセーバーや海上保安庁の方々の助けが必要になります。その方達が働くということは、賃金が自治体等から支払われ、税金が使われていることに気付きました。

海・森・川を守る為の環境税がありますが、それらは豊かな海を守る川や森の環境保全に活用されています。ですがたくさん調べても、海に直接税金がかかっているものはなく、海に入るだけでは税金はかからないのです。

私は疑問に思います。海は豊かな自然で、危険なものでもあります。その中に入るということは、当然それが危険であると知った上で、その危険に対する備えとして、車の保険の様に、海に入る為にもお金を払う必要があると思いました。

そして、海は人間のものだけではありません。たくさんの生物がいます。人間が捨てたゴミや釣り糸で生物が死んでしまったり、船などの燃料流出で海が汚染されたり、人間が原因で生態系が崩されることもあります。そういう危険からも、人間は海に対して支払いの義務があると思いました。どこの海を見てもたくさんの魚達が泳いでいて欲しいです。絶滅のおそれのある生物が今以上に減っていかないように助ける活動にも、大切な税金が使われるようになってほしいです。